

本の魅力紹介

叡啓大生準V

県立叡啓大（広島市中区）4年豊崎花さん（22）が、大学生による書評合戦「全国大学ビブリオバトル」で準優勝した。川瀬七緒さんの小説「四日間家族」（KADOKAWA刊）の魅力語り、初出場で激戦を勝ち上がった。



「四日間家族」の単行本を手に、物語の魅力を語る豊崎さん

（広島市中区の叡啓大）

全国大学ビブリオバトル

豊崎さん「嫌」「共感」語る

計1756人が出場した地区予選を経て、30人が昨年12月下旬に東京であった本戦に出場。それぞれがお薦めの1冊を5分間で紹介し、約450人の聴衆の投票で順位を決めた。

豊崎さんが推した「四日間家族」は、自殺志願者4人組が捨てられた赤ちゃんを保護し、SNS（交流サイト）で誘拐犯扱いされながらも団結して赤ちゃんを救う物語。本戦で豊崎さんは4人組の「リアルに嫌な」面や「共感でき、涙が出るほど刺さる場面」を小気味よく語り、同作が2位の「準グランドチャンプ本」に選ばれた。

今月中旬、学内で表彰式があり、教員や学生を前に本戦でのプレゼンテーションを再現。「文章を固め過ぎず、友達に話すように自然に出てきた言葉で聴衆に語りかけたのが良かった」と振り返った。大会は活字文化推進会議（東京）が主催した。

（関家かれん）